



次回のこの欄に登場するのは、あなたかも？
身近なニュース、まちの話題などをお知らせください
☎情報政策課広報係 ☎22-1411 (内線431)

地域の子どもたちの健やかな成長を願って

稲里町老人クラブ会長 藤野久男さん

7月30日朝、稲里町民会館に地元小学生27人と老人クラブの役員10人が集まりました。20年ほど前から続く夏休み恒例の行事で、子どもたちとお年寄りが楽しく遊んだり食べたりして交流するのです。昨年はカレー、一昨年は流しそうめんというメニューでしたが、今年はおもちつきをしました。

子どもたちの親の世代ですらほとんど見たことがないでしょう。このほかにも、足踏み式の脱穀機など今では使わなくなった農機具や、藁草履作りの実演を子どもたちは興味深そうに見ていました。

最後に、つきたてのおもちに手作りのきな粉をまぶして、集まった全員が舌つつみ。わずか半日ほどのふれあい交流でしたが、先祖から伝わる生活文化に接した子どもたちが、地域社会の一員としてたくましく健やかに育ってほしいものです。



▲金亀公園内に咲いたオニバス
(8月7日、藤本さん撮影)



藤本さん▶

オニバス観察に通いつめた夏でした

藤本博之さん(古沢町)

7月の下旬ごろ、金亀公園管理事務所近くの水路に、オニバスの花が咲いているのに気づきました。例年は生えないところなのですが、管理事務所の職員さんが水草を掃除してくれたおかげでしょうか。とげに包まれた茎の上に、鮮やかな紫色の花びらを開く姿がユニークです。よく見ると、花の中がピンク色になっているのもかわいらしく思えます。

オニバスを見に行くようになりました。オニバスの花は早朝に咲いて、夕方いったん閉じ、翌日また咲きます。3日ほど咲くと、水中に沈んで姿を見せなくなります。水面から2センチも上で咲く花や、水中で咲く花、葉を突き破って出てくる花や、ぐうんと茎を伸ばして葉の横に顔を出す花と、様子はさまざまで、毎日変化していきます。姿を記録した写真は約200枚にもなり、花が咲く過程をビデオにも収めました。



▲藤野さん

▼「重いぎねに負けるな！」



◀藁草履作りを興味深そうに見る子どもたち

